

ベストプラクティス企業の紹介

11月の「**過重労働解消キャンペーン**」の一環として、福岡労働局長が、11月27日（月）にモーダルシフトの導入等により長時間労働の削減に積極的に取り組む『**小倉運送株式会社**』を訪問しました。いわゆる運送業における2024年問題について、福岡運輸支局長とともに、荷主企業であるTOTO株式会社を交えて意見交換を行いました。

小倉運送株式会社 会社概要

本社所在地：北九州市小倉南区朽網3914番地68

代表者氏名：代表取締役社長 増井 淳

資本金：5,000万円

労働者数：250名（2022年3月現在）

事業内容：一般貨物自動車運送事業、第二種貨物利用運送事業（鉄道・内航）、倉庫事業等

車両台数：178台（2022年8月現在）

働き方改革に関する小倉運送株式会社の主な取組内容

・モーダルシフト（ ）の積極的な導入

創業当時から鉄道輸送を軸とした物流システムを構築。

長距離になる幹線を鉄道で輸送し、全国各地の通運業者等と連携しつつ運送を行う。

長距離運行を行わないことで、長時間労働の抑制を行っている。

（ ）トラック等の自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること。長距離の運転を行わないことで長時間労働を未然に防ぐことができる利点があります。



・運行管理システム等の導入

自動配車システムを使用し、合理的な配送ルートを自動で作成。配車組みの時間短縮はもちろん、積載率や回転率などを把握でき、データ分析により運行計画の見直しを可能に。また、運行管理システムを導入し、稼働しているトラックの運行状況等を瞬時に把握することで、労働者（自動車運転者）の適正な労働時間の管理や健康状態の把握につなげている。

福岡労働局 小野寺 局長、福岡運輸支局 傳 支局長 小倉運送株式会社 増井 代表取締役社長、TOTO株式会社 大中西日本物流部長の対談



【福岡労働局小野寺局長】

2024年4月から自動車運転の業務に対する時間外労働上限規制の適用に向けて、どのような取組を行っているのでしょうか。

【小倉運送株式会社増井代表取締役社長】

- ・JR貨物様や全国各地の通運業者様と連携しているため、自社トラックでの輸送は近距離のみです。鉄道輸送は効率面、環境面で優れており、長時間労働になりにくい長所があります。
- ・「AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金」を活用し、最新のデジタコ、ドライブレコーダーの入替を一斉に行いました。

【福岡労働局小野寺局長】

ドライバーの方の荷待ち時間を削減するという観点からTOTO株式会社様の具体的な取組についてお聞かせください。

【TOTO株式会社大中西日本物流部長】

- ・物流センターにおけるトラック入門を予約制にし、加えて管理システムを導入することで、トラックの待機時間をほぼ全車両30分以内まで短縮できました。
- ・物流センターでは100%近くパレットを用いた荷渡しを行っています。スマホで撮影するだけで、パレットの枚数や種類をデータ化することにより管理できるようになりました。
- ・輸送企業様の要望に応じて、作業工程を前倒しすることで、荷の受渡しまでの時間を短縮することが可能となりました。



【福岡運輸支局傳運輸支局長】

労働環境改善のためにはDX化を通じた効率化が必要だと考えています。どのような取組を行っていますか。

【小倉運送株式会社増井代表取締役社長】

- ・弊社においては配送ルートを作成を自動配車システムにより行い、配車組みの時間短縮はもちろん、積載率、回転率などのデータ分析を行うことで、効率的な運行管理が可能となりました。

【4者での写真撮影】

左から傳支局長、小野寺局長、増井社長、大中部長

